



**2022 年度
入学試験科目と課題曲**

目次

[一般入学試験]

第1学年一般入学試験科目と課題曲

1. 各専攻共通試験科目……………2
2. 各専攻別試験科目……………2
- 声乐……………2
- 器楽 ピアノ……………3
- ピアノ演奏家コース……………3
- ピアノ・創作コース……………3～4
- ヴァイオリン……………4
- ヴィオラ……………5
- チェロ……………5
- コントラバス……………5
- ハープ……………6
- クラシックギター……………6
- フルート……………6
- オーボエ……………7
- クラリネット……………7
- ファゴット……………7
- サクソフォーン……………8
- ホルン……………8
- トランペット……………8
- トロンボーン……………9
- チューバ……………9
- ユーフォニアム……………9
- 打楽器……………9
- 作曲……………10
3. 音楽総合コース……………10～11
4. 併願の試験科目について……………11

第2学年編入学試験科目と課題曲

1. 募集専攻について……………12
2. 各専攻共通試験科目……………12
3. 各専攻別試験科目……………12
- 声乐……………12～13
- 器楽 ピアノ……………13
- ピアノ演奏家コース……………13
- 弦・管打楽器……………13
- 作曲……………13
4. 音楽総合コース……………14
5. 併願の試験科目について……………14

[推薦入学試験]

第1学年推薦入学試験科目と課題曲

1. 募集専攻について……………15
2. 各専攻共通試験科目……………15
3. 各専攻別試験科目……………15
- 器楽 ピアノ演奏家コース……………15
- 弦楽器……………15
- 管打楽器……………15
- 作曲……………15
- 器楽 ピアノ演奏家コース・特別特待奨学生
 (旧エクセレンス、2020年度より名称変更)
 ……………15

【一般入学試験】

第1学年一般入学試験科目と課題曲

1 各専攻共通試験科目（音楽総合コースに関しては P.10～P.11 を参照のこと）

- (1) 一般学科：「英語」、「国語・数学より1科目選択」計2科目
ただし、実用英語技能検定準2級以上の資格を有する者は「英語」を免除する。
- (2) コールユーブンゲン：第1巻の原書番号 No.24～No.41 の中から試験の際1曲を指定する。
移動ド唱法、又は固定ド唱法のいずれでも可。
- (3) 聴音：単旋律（8小節程度）、各専攻共通2題
- (4) 楽典：楽典一般
- (5) 副科ピアノ：ピアノ、ピアノ・創作コース、ピアノ演奏家コース及び弦、管打楽器の志望者は受験の必要なし。
●声楽専攻者は、ソナチネ程度以上の曲から任意の1曲を演奏すること。
（二つ以上の楽章を合わせても可。繰り返しは自由）
※暗譜で演奏すること。
●作曲専攻者はバッハ：三声インヴェンション（シンフォニア）から任意の1曲及び自由曲1曲（自作品は不可）を合わせて2曲を演奏すること。
（2曲で**5分以上10分以内**）※暗譜で演奏すること。
- (6) 面接：受験者及び保護者

2 各専攻別試験科目（音楽総合コースを除く）

■声楽専攻

- ※暗譜で演奏すること。
- (1) 「コンコーネ 50 番」の第5番～第20番までの中から任意の2曲を選ぶこと。その中から当日1曲を指定する。
※母音唱法に限る。伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
※専攻別曲目記入票には高声・中声・低声の別を○で囲むこと。
※指定された調以外の場合は伴奏譜を提出すること。
- (2) 日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を1曲。オペラのアリアも可。ただし、アリアは原調で演奏のこと。
※原語に限る。
※伴奏譜は願書と共に提出すること。楽譜は書き込みのない鮮明なものを譜めぐりしやすいように製本し、表紙には必ず受験者氏名を記入すること（コピーした楽譜は鮮明なもの。又、移調譜は丁寧かつ誤りのないもの）。
※伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
※推薦入学試験は行わない。
※演奏の途中で打ち切ることがある。

■器 楽 専 攻

ピアノ

※暗譜で演奏すること。

- (1) J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（フーガのみ）。
- (2) 次の㊶～㊿の練習曲集より任意の2曲を選択すること（同一作曲家の組み合わせでなくても可）。

㊶ チェルニー 50番 (Op.740)

㊷ クラマー・ビューロー 60番

㊸ クレメンティ

㊹ モシュコフスキー Op.72

㊿ ショパン『練習曲集』 Op.10、Op.25（Op.10-No.6、Op.25-No.7を除く）、『3つの新しい練習曲』

- (3) 自由曲（6分程度。ただし **4分以上** であること。複数曲可。）

※一部省略は認めない。

※推薦入学試験は行わない。

ピアノ演奏家コース

※暗譜で演奏すること。

次のA課題、又はB課題を選択すること。

A課題

- (1) J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）。

※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガどちらかの演奏になる場合がある。

- (2) ショパン『練習曲集』 Op.10、Op.25より任意の2曲。（Op.10-No.6、Op.25-No.7を除く）

- (3) 自由曲（**10分以上** であること。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）

※一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

B課題

自由曲（**20分以上** であること。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）

※一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

※ピアノ演奏家コースの受験結果により、ピアノに合格となる場合がある。ただし、推薦入学試験においては適用されない。

ピアノ・創作コース

1. ピアノ課題

※暗譜で演奏すること。

- (1) J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュード、又はフーガ）

- (2) 次の㊶～㊿の練習曲集より任意の1曲を選択すること。

㊶ チェルニー 50番 (Op.740)

㊷ クラマー・ビューロー 60番

㊸ クレメンティ

㊹ モシュコフスキー Op.72

㊿ ショパン『練習曲集』 Op.10、Op.25（Op.10-No.6、Op.25-No.7を除く）、『3つの新しい練習曲』

※次ページに続く

(3) 自由曲（6分程度。ただし、**4分以上**であること。複数曲可。）

※一部省略は認めない。

2. 創作

自作曲の楽譜を1曲、出願書類と共に提出すること。

編成及び曲の長さは自由とする。

例：ピアノ独奏曲（1～2分程度）、電子楽器を含むアンサンブル作品等

ヴァイオリン

- (1) 音階：カール・フレッシュ (Carl Flesch) スケールシステムより、任意の長調、又は短調を選び、第5番、第6番、第7番、第8番を演奏する。ただし第5番は冒頭より12小節目までを演奏する。スラーとリズムはC-durに準ずる。第6番、第7番、第8番は各々冒頭より4小節目までを演奏する。スラーは16分音符4個（一拍）以上とする。運指は指定しない。速度は下記の通りとする。第7番と第8番は、第6番に準ずる。

第5番 $\text{♩} = 60$ 以上



第6番 $\text{♩} = 60$ 以上



※譜例の点線のように2拍ずつの場合も可。

- (2) 練習曲：クロイツェル、ローデ、ドント、パガニーニなどの練習曲やカプリスの中より任意の1曲を演奏する。繰り返しはなしとする。

- (3) 任意の協奏曲1曲の第1楽章を演奏する（カデンツァを含む）。

※暗譜で演奏すること。

※伴奏はなし。

※なお、ヴァイオリン演奏に関し適性ありと認め得る場合、ヴァイオリンに合格となる場合がある。ヴァイオリンへの転専攻入学に同意する受験者は、入学願書の「ヴァイオリンへの転専攻（○で囲む）」欄の「同意する」を○で囲むこと。ただし、推薦入学試験においては適用されない。

ヴィオラ

- (1) 音階：カール・フレッシュ (Carl Flesch) スケールシステムより、任意の長調、又は短調を選び、第5番、第6番を演奏する。ただし第5番は冒頭より12小節目までを演奏する。スラーとリズムはC-durに準ずる。第6番は冒頭より4小節目までを演奏する。スラーは16音符4個(1拍)以上とする。運指は指定しない。
- (2) 自由曲を1曲。
 - ※暗譜で演奏すること。
 - ※伴奏はなし。
 - ※ヴァイオリンで受験も可。その場合、課題曲はヴァイオリンに同じとする。ただし、受験票の第1志望の欄にヴィオラと記入すること。

チェロ

- (1) 任意の長調、短調、両方の3オクターヴの音階(4音を一弓で演奏すること)。
- (2) 任意のエチュードを1曲。
- (3) 次の㊦・㊧より1つを任意に選択する。

㊦ 任意のチェロ協奏曲より第1楽章、又は最終楽章

㊧ 任意の古典ソナタより第1楽章及び第2楽章

(ただしバッハの無伴奏組曲を除く)

※推薦入学試験の場合、(2)のエチュードは、次の6曲の中から1曲を選択する。

ドッツアウアー：113 チェロ練習曲集より

(DOTZAUER：113 VIOLONCELLO ETÜDEN)

第65番

第73番

シュレーダー：170 チェロ練習曲集より

(ALWIN SCHROEDER：170 FOUNDATION STUDIES For Violoncello)

第135番 シュレーダー Op. 45-2

第138b番 メルク Op. 11-4

第167番 ピアッティ Op. 25-3

第168番 ピアッティ Op. 25-8

※暗譜で演奏すること。

※伴奏はなし。

コントラバス

- (1) 任意の調の2オクターヴの音階。
- (2) 自由曲を1曲(エチュードも可)。

※暗譜で演奏すること。

※伴奏はなし。

ハーブ

(1) ボクサ：作品 318 の「40 番練習曲」から任意の 1 曲。

(2) 自由曲を 1 曲。

※暗譜で演奏すること。

※伴奏はなし。

クラシックギター

(1) カルカッシ、又はソルの練習曲の中から任意の 1 曲。

(2) 自由曲を 1 曲。

※暗譜で演奏すること。

※伴奏はなし。

フルート

(1) 次の音型によって音階及び分散和音を演奏すること。

調性、スラーの有無は当日指定。演奏は暗譜で行うこと。(♩ ≒ 80 ~ 90)

長調

短調

(2) J. Donjon : Études de Salon から no.1 Elégie

(J. ドンジョン：サロンエチュード) から no.1 エレジー

演奏箇所は当日指定する。

(3) Carl Stamitz : Concerto G-dur より、第 1 楽章

カデンツァは含まない。

演奏箇所は当日指定する。

※音階課題以外は暗譜の必要はない。

※伴奏はなし。

オーボエ

- (1) 音階：次のA、Bいずれかの音型によって、長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。演奏は暗譜で行うこと。

A 例



B 例



- (2) 4分程度の任意の独奏曲、又は練習曲（暗譜の必要はない）。

演奏箇所は当日指定する。

※伴奏はなし。

クラリネット

- (1) 音階：次の音型によって長音階と旋律短音階を演奏すること。＃♭は3つまでとし、調性、スラー等は当日指定する。演奏は暗譜で行うこと。



- (2) ローズ：32のエチュードより、任意の奇数番号1曲と偶数番号1曲を演奏する。

C.Rose：32 Etudes for Clarinet（版は自由）

- (3) クローゼ：クラリネットのための日課練習《ジャンジャン校訂》（ルデュック版）より、第1番から第3番までの中から当日指定する。

H.Klosé：Exercices Journaliers pour Clarinette《P.JEANJEAN校訂》（Leduc版）

※音階課題以外は暗譜の必要はない。

ファゴット

- (1) 音階：次の音型によって、長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。演奏は暗譜で行うこと。



- (2) Julius Weissenborn：Bassoon Studies op.8第1巻Ⅲの中から任意の1曲（暗譜の必要はない）。

※伴奏はなし。

サクソフォーン

- (1) 音階：長調、短調（和声的短音階） $\sharp\flat 4$ つまでの中から、譜例に従い、当日指定された音階をスラーで演奏すること。（暗譜で演奏すること。繰り返しはなし）

音階譜例



- (2) Guy Lacour : 50 Etudes Faciles & Progressives pour Saxophone (Billaudot 版) 第1巻より、任意の2曲を演奏すること（暗譜の必要はない）。

※伴奏はなし。

※ (1) (2) 共、Alto Saxophone で演奏すること。

《金管楽器共通課題（音階及び分散和音）》

次の例にしたがって演奏すること。（長音階と短音階）

（調性、音域は当日指定。暗譜で演奏すること）



※短音階は和声短音階とする。

ホルン

- (1) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。

- (2) 任意の独奏曲、又は練習曲1曲（暗譜の必要はない）

※伴奏はなし。

トランペット

- (1) Dr.Charles Colin : TRUMPET advanced LIP FLEXIBILITIES VOL.1 より、第3番 (ETUDE No.1)。演奏は暗譜で行うこと。

- (2) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。

- (3) Arban's Complete Conservatory Method for Trumpet 12 幻想曲とアリアより、第5番。The Beautiful Snow の主題と変奏曲 I・II（暗譜の必要はない）

※伴奏はなし。

トロンボーン

- (1) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
※バストロンボーンについては、F-dur（ヘ長調）及びf-moll（ヘ短調）とする。
- (2) (テナートロンボーン) Vivaldi Sonata No.1 B-dur
I .Largo II .Allegro
(バストロンボーン) J.E.Galliard Sonata No.1 a-moll
I .Cantabile II .Spiritoso e staccato V .Vivace
(繰り返しなし) (暗譜の必要はない)
出版社の指定、なし。
※バストロンボーンについては、1 オクターブ下げて演奏することも可。
※伴奏はなし

チューバ

- (1) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
- (2) 任意の独奏曲、又は練習曲1曲（暗譜の必要はない）。
※伴奏はなし。

ユーフォニアム

- (1) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
- (2) Arban's Complete Conservatory Method for Trumpet 12 幻想曲とアリアより、第4番。
Tyrolean Song の主題と変奏曲 I・II（暗譜の必要はない）
※伴奏はなし。

打楽器

小太鼓、又はマリンバによって受験すること（願書の志望専攻名欄に打楽器（小太鼓）、打楽器（マリンバ）のいずれかを記入すること）。

(A) 小太鼓

- (1) 二つ打
(2) 任意の独奏曲、又は練習曲1曲（暗譜の必要はない）

(B) マリンバ

- (1) 2 オクターヴの長音階、短音階、分散和音を譜例の音型で演奏すること（調性は当日指定）

♩=110 ca.

♩=110 ca.

- (2) 任意の独奏曲1曲（暗譜の必要はない）

※伴奏はなし。

■作曲専攻

(1) 和声：転調及び非和声音を含まないバス課題

(2) 作曲：与えられた動機による楽曲の創作

※ (1) (2) 合わせて **3時間**

■音楽総合コース（推薦入学試験は行わない）

(1) 一般学科：「英語」、「国語」、「数学」計3科目

ただし、実用英語技能検定準2級以上の資格を有する者は「英語」を免除する。

(2) ソルフェージュ：「コールユーブンゲン」、「聴音」より1科目選択

●コールユーブンゲン：第1巻の原書番号 No.24～No.41の中から試験の際1曲を指定する。移動ド唱法、又は固定ド唱法のいずれでも可。

●聴音：単旋律（8小節程度）2題

(3) 楽典：楽典一般

(4) 実技：ピアノ、その他の器楽（弦楽器、管打楽器）、声楽、作曲の中から1つ選択する。課題曲はすべて自由曲とする。

作曲で受験する場合は、与えられた動機による楽曲の創作（**3時間以内**）。

※課題の詳細は下記を参照のこと。

(5) 面接：受験者及び保護者

音楽総合コース 受験課題曲（自由曲）について

◎ 声楽で受験する場合：

下記のA、Bの両方から選曲すること。

A. 「コンコーネ 50番」の第1番～第10番までの中から任意の1曲。

B. 日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を1曲。原語のみとする。演奏時間は合計**6分以内**。暗譜のこと。伴奏譜は願書とともに提出すること。

※伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

◎ ピアノで受験する場合：

※暗譜で演奏すること。

自由曲（5分程度・複数曲可）

◎ 弦楽器で受験する場合：

※暗譜のこと。伴奏はなし。

1. ヴァイオリンの場合は自由曲（コンツェルト、ソナタ等）とし、クロイツェル、ドント、ローデ、パガニーニ等の練習曲やカプリスも可とする。

2. その他の弦楽器の場合は、特に指定なし（自由曲）。

◎ 管打楽器で受験する場合：

いずれの楽器の場合も、エチュードを含む自由曲とする。演奏時間は **5分以内**。

※暗譜の必要はない。伴奏はなし。

◎ 作曲で受験する場合：

指定された「与えられた動機による楽曲の創作」(**3時間以内**)とする。

4 併願の試験科目について

第一志望のほか特に希望する者は第二志望として、「声楽」、又は「音楽総合コース」を併願することができる。

ただし、第一志望が「ピアノ演奏家コース」及び「音楽総合コース」の志願者は併願することができない。又、第二志望のみの受験は認めない。

併願を志望する者は、願書提出の際「志望専攻名」の第二志望欄に「声楽」、又は「音楽総合コース」と明記すること。

なお、ピアノ及びピアノ・創作コース以外を第一志望とする者が声楽を併願する場合は、専攻別試験科目のほかに、各専攻共通試験科目の副科ピアノについても受験しなければならない。

又、音楽総合コースを併願する場合は、第一志望の専攻別試験科目のほかに、一般学科は「英語」、「国語」、「数学」の3科目を受験しなければならない。ただし、実用英語技能検定準2級以上の資格を有する者は「英語」を免除する。

第2学年編入学試験科目と課題曲

1 第2学年編入学試験の募集専攻について

器楽専攻：ピアノ演奏家コース・特別特待奨学生（旧エクセレンス、2020年度より名称変更）、ピアノ・創作コースは募集しない。

2 各専攻共通試験科目（音楽総合コースに関してはP.14を参照のこと）

- (1) 一般学 科：「英語」、「国語・数学より1科目選択」計2科目
ただし、実用英語技能検定準2級以上の資格を有する者は「英語」を免除する。
- (2) コールユーブンゲン：第1巻の原書番号No.24～No.51の中から試験の際1曲を指定する。
移動ド唱法、又は固定ド唱法のいずれでも可。
- (3) 聴 音：単旋律（8小節程度）、各専攻共通2題
- (4) 楽 典：楽典一般
- (5) 副 科 ピ ア ノ：ピアノ、ピアノ演奏家コース及び弦、管打楽器の志望者は受験の必要なし。
●声楽専攻者は、ソナチネ程度以上の曲から任意の1曲を演奏すること。
（二つ以上の楽章を合わせても可。繰り返しは自由）
※暗譜で演奏すること。
●作曲専攻者はバッハ：三声インヴェンション（シンフォニア）から任意の1曲及び自由曲1曲（自作品は不可）を合わせて2曲を演奏すること。
（2曲で**5分以上10分以内**）
※暗譜で演奏すること。
- (6) 面 接：受験者及び保護者

3 各専攻別試験科目（音楽総合コースを除く）

■声 楽 専 攻

※暗譜で演奏すること。

- (1) 「コンコーネ50番」の第21番～第30番までの中から任意の2曲を選ぶこと。その中から当日1曲を指定する。
※母音唱法に限る。伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
※専攻別曲目記入票には高声・中声・低声の別を○で囲むこと。
※指定された調以外の場合は伴奏譜を提出すること。
- (2) 日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を1曲。オペラのアリアも可。ただし、アリアは原調で演奏のこと。
※原語に限る。
※演奏時間は(1)と(2)の合計（曲間含む）で**7分以内**とする。

※伴奏譜は願書と共に提出すること。楽譜は書き込みのない鮮明なものを譜めくりしやすいように製本し、表紙には必ず受験者氏名を記入すること（コピーした楽譜は鮮明なもの。又、移調譜は丁寧かつ誤りのないもの）。

※伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

■器 楽 専 攻

ピアノ

※暗譜で演奏すること。

(1) J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）。

※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガどちらかの演奏になる場合がある。

(2) 次の㊶～㊿の練習曲集より任意の2曲を選択すること（同一作曲家の組み合わせでなくても可）。

㊶ チェルニー 50番 (Op.740)

㊷ クラマー・ビューロー 60番

㊸ クレメンティ

㊹ モシュコフスキー Op.72

㊿ ショパン『練習曲集』Op.10、Op.25（Op.10-No.6、Op.25-No.7を除く）、『3つの新しい練習曲』

(3) 自由曲（6分程度。ただし **4分以上** であること。複数曲可。）

※一部省略は認めない。

ピアノ演奏家コース

※暗譜で演奏すること。

次のA課題、又はB課題を選択すること。

A課題

(1) J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）。

※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガどちらかの演奏になる場合がある。

(2) ショパン『練習曲集』Op.10、Op.25より任意の2曲。（Op.10-No.6、Op.25-No.7を除く）。

(3) 自由曲（**10分以上** であること。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）

※一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

B課題

自由曲（**20分以上** であること。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）

※一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

※ピアノ演奏家コースの受験結果により、ピアノに合格となる場合がある。

■ 器楽専攻：弦楽器、管打楽器

■ 作曲専攻

} 第1学年受験の場合と同じ。

4 音楽総合コース

- (1) 一般学科：「英語」、「国語」、「数学」計3科目
ただし、実用英語技能検定準2級以上の資格を有する者は「英語」を免除する。(2018年度入学試験より「国語」の出題範囲は現代文のみ)
- (2) コールユーブンゲン：第1巻の原書番号 No.24～No.51の中から試験の際1曲を指定する。
移動ド唱法、又は固定ド唱法のいずれでも可。
- (3) 聴音：単旋律(8小節程度)、2題
- (4) 楽典：楽典一般
- (5) 実技：ピアノ、その他の器楽(弦楽器、管打楽器)、声楽、作曲の中から1つ選択すること。課題曲はすべて自由曲とする。
作曲で受験する場合は、与えられた動機による楽曲の創作(3時間以内)。
※課題の詳細はP.10～P.11を参照のこと。
- (6) 面接：受験者及び保護者

5 併願の試験科目について

第1学年受験の場合と同じ。

【推薦入学試験】

第1学年推薦入学試験科目と課題曲

1 推薦入学試験の募集専攻について

声楽専攻、器楽専攻：ピアノ、ピアノ・創作コース、音楽総合コースは募集しない。

器楽専攻：ピアノ演奏家コース特別特待奨学生（旧エクセレンス、2020年度より名称変更）は推薦入学試験のみ募集する。

2 各専攻共通試験科目

面接：受験者及び保護者

※一般学科、コールユーブンゲン、聴音、楽典、副科ピアノの試験は課さない。

3 各専攻別試験科目

■ 器楽専攻：ピアノ演奏家コース、弦楽器、管打楽器 ■ 作曲専攻

上記については一般入試課題と同様とする（P.3～P.10参照）。

■ 器楽専攻：ピアノ演奏家コース・特別特待奨学生については以下の通り。

ピアノ演奏家コース特別特待奨学生

※暗譜で演奏すること。

次の（1）～（5）を合わせて **60分以上** にプログラミングすること。

（1）J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）。

（2）ショパン『練習曲集』Op.10、Op.25より、任意の3曲を選択すること。

（3）次の練習曲集の中から、任意の1曲を選択すること。

① リスト

② ドビュッシー

③ スクリャービン（Op.8、Op.42、Op.65）

④ ラフマニノフ『音の絵』Op.33、Op.39

（4）ベートヴェンのソナタより任意の1曲（全楽章）。

（5）自由曲

ロマン派及び近現代の作品から自由選択

※各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること。

※試験結果によりピアノ演奏家コースになる場合がある。

TCM
Tokyo College of Music High School
東京音楽大学付属高等学校

〒171-8540 東京都豊島区南池袋 3-4-5
T. 03-3988-6214
F. 03-3982-9273
fuzoku_koko@tcm-koko.ed.jp
<http://tcm-koko.ed.jp>